

[抄録様式]

<p>公益財団法人 8020 推進財団 令和 3 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</p>	
1.	事業名：歯薬連携強化によるかかりつけ歯科医機能の充実を目的とした 連携ネットワーク推進のためのパイロット事業（2）
2.	申請者名：公益社団法人香川県歯科医師会 会長 豊嶋 健治
3.	実施組織：公益社団法人香川県歯科医師会 国立大学法人徳島大学歯学部予防歯学分野 まんのう町国民健康保険造田歯科診療所
4.	<p>事業の概要：</p> <p>超高齢社会に突入している我が国では、これからの医療と介護は多職種連携体制による地域包括ケアシステムの中で住民ニーズに合致した効率的な社会保障サービスとして提供されることが期待されている。我々は 2018～2020 年の前事業：「薬局、医科診療所および町保健センターを起点とする地域住民のための多職種連携による歯科口腔保健推進システム構築のためのパイロット事業」を実施した結果、薬局との間の「歯薬連携」の推進に、特に大きな可能性を見出した。そこで今後の発展のための狙いとして、診断名として最近保険収載された「口腔機能低下症」と、漢方薬に着目し、歯薬双方向から地域の住民患者の問題の改善に向けたアプローチを試み、連携ネットワークの機能強化を目的とした本事業を実施する。</p>
5.	<p>事業の内容：</p> <p>① 善通寺市および仲多度郡地域をモデル地区として設定し、地区の歯科医師会員と薬剤師会員を対象に、口腔機能低下症と漢方薬の知識に関する合同研修会をオンライン形式で実施した。</p> <p>② 全県の歯科医師と薬剤師を対象に歯科領域における漢方薬の活用に関する知識の向上を目指した研修会を企画し、その実施を決定した。</p> <p>③ 本モデル事業に参加を希望した地域の 6 薬局に、口腔乾燥の診断機器である口腔水分計（商品名：ムーカス）を配置し、薬局と歯科医院間のコミュニケーションツールを整備して、歯薬連携ネットワークを構築し、稼働を開始した。</p>
6.	<p>実施後の評価（今後の課題）：</p> <p>① モデル地区で歯薬連携オンライン研修会を実施した。実施後のアンケート調査結果から、歯科医師・薬剤師ともに歯薬連携に対する意欲・関心は高く、研修会の内容についても肯定的な意見が優勢で、今後の連携の発展の可能性が期待できた。</p> <p>② モデル薬局への口腔水分計を配置するとともに、歯薬間の患者情報提供書等のコミュニケーションツールを制作して配置した。口腔乾燥を訴える薬局顧客への口腔水分計の使用、歯科医院への紹介と漢方薬治療における連携については、新型コロナウイルス予防対策も十分に講じて、これから本格的な実施に入る。コミュニケーションツールについては、実際の使用状況をみながら修正を行い、完成度を高めていく予定である。</p>